森からのお手紙

7号
2021

Topics

森のこよみ
お客様物語　鈴木さんご夫妻

お客様物語

第7回

今回のお客様
鈴木 さん ご夫妻

開苑から多くのお客様との出会いがあります。お一人おひとり積み重ねてこられた人生が異なるように、お墓の選び方も実にさまざまです。その想いや考えは、今お墓を探している方々にとって参考になるのではないかと思い、契約された方の声を少しずつお届けしたいと思います。

岩手県奥州市にお住いの鈴木武敏さん・文子さんご夫妻にとって、ペットのワンちゃんたちはかけがえのない存在です。去年亡くなり、お骨のままリビングにいた愛犬、アメリカン・コッカー・スパニエルのひなちゃんを今年4月にご納骨され、その際、かつて飼っていたブルマちゃんも一緒に入りました。そして、ひなちゃんと一緒に過ごしたももちゃんが5月に亡くなり、9月にご納骨の予定です。同時にご夫妻は同じ区画での生前契約をされています。

武敏さんはもともと「チベットの鳥葬はとても理にかなっている」という考えを持ち、文子さんも墓石の下に入ることに違和感や疑問を抱いていました。お墓を探すにあたっては、樹木葬で、永代供養のお墓を考えていました。中でも、最優先の条件は「ペットと一緒に入れること」でした。

「うちは子どもはいなくて、犬を飼っています。同じ時間を過ごした家族として一緒の土に埋めてもらえるのは理想的。すべての条件にぴったり合いました」

また、千葉県御宿町ご出身の文子さんは高校時代の友人の影響から、長南町そのものにも良い印象を持っていたそうです。見学に来られた際は、岩手の自然に似ているとも感じました。

「最初は不安もありましたが、スタッフの方が長南町や岩手出身と馴染みがあり、お話しした感じがとてもよく、安心材料になりました。ほかの樹木葬もしっかり勉強されているし、自然を守る活動のお話などを聞いて信頼感も増しました。墓石の下に入って管理され、最終的には片付けられる…というよりも、身体が無くなる最後の形として『土に還る』というのはとても自然なことだと思います」

今年5月にももちゃんが亡くなる際、窓を開けたら、寝たままで急にしっぽをピーンと立てて、脚を動かし走る仕草をし、亡くなりました。

「その時、魂が抜けたと思います。その窓から奥羽山脈が見えるんですが、次の日の朝、虹がかかったんです。ひなちゃんが迎えに来て、一緒に行ったんだなって…」

森の墓苑でお骨も一緒になる予定のワンちゃんたち。きっと仲良く駆け回り、家族である鈴木さんご夫妻を見守っていることでしょう。

森の墓苑
自然のなかに眠り森を育てる

見学予約
問い合わせ

（公財）日本生態系協会 森の墓苑東京事務所
東京都豊島区西池袋2-30-20音羽ビル
フリーコール　0120-901-580（9:00～18:00）
ホームページ　www.morinoboen.org

森からのお手紙 7号 2021　発行：（公財）日本生態系協会

森のこよみ

今年も春の訪れを告げに野鳥たちがさえずりを聞かせてくれました。葉は早春の黄緑からみずみずしい濃い緑へ、草はらをとおり抜けるそよ風は初々しい緑の香りを放ちます。

◆お盆と秋のお彼岸は開苑しています

8月7日(土)～16日(月)、9月18(土)～26日(日)は、毎日開苑しています。

◆見学やお墓参りについて

平日にご来苑の際は、スタッフ不在の場合がありますので、前日までにご連絡ください。開苑時間10～16時。＊スマートフォンのアプリ「LINE」のビデオ通話を使用した現地見学も承ります。

◆出張説明

ご自宅や団体・企業での説明会も承りますので、ご依頼ください。

協会ニュース

紺綬褒章の公益団体認定

この度、日本生態系協会は内閣府より、公益のために私財を寄付された方に授与される「紺綬褒章」の対象公益団体として認定を受けました。今後、協会に私財(個人500万円以上、団体1000万円以上)をご寄附いただいた方には、紺綬褒賞が授与されます。 写真出典・内閣府ホームページ

《長南ホタル観賞ツアー》

ご契約者さまを中心にご案内したホタル観賞では、森の墓苑近縁と例年ホタルまつりが行われる山内地区をご覧いただきました。ホタルが川辺に沿って美しく舞う黄色や黄緑色のやさしい光と川面に映るゆらめきは、とても幻想的で、参加者の方は皆感動されていました。最近では水環境の変化によりすみかが減ってきましたが、ホタルのすめるきれいな水辺は、私たちにとっても安心して生活できるゆたかな自然がある証です。

《植樹草会2021》

4月の最終日曜日、ぽかぽか陽気と日差しのなか、地元長南町の平野町長をはじめ、小さいお子さんからシニアの方まで約40名の方々が参加されました。八千草薫さんが大好きだった「八千(やち)の草はら」へ野草を植え、ビオトープ池では生きものたちを観察し、野草や花の香りを楽しんだあとは、将来、森と草はらを散歩する人々を思い浮かべながらワクワクした気持ちで植樹を行いました。お昼は地元のカフェによる地域の食材で作られた美味しいお弁当を味わいました。みなさん、お疲れさまでした!